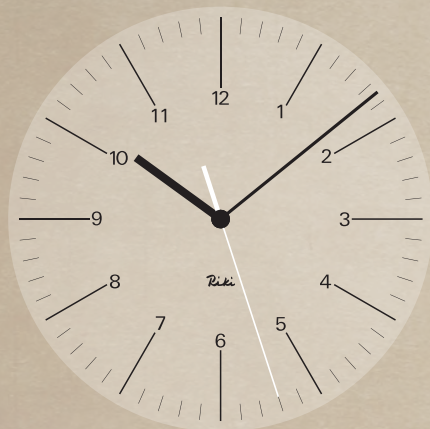




RIKI ROMAN CLOCK

RIKI STEEL CLOCK

Designed by Riki Watanabe / Made in Japan by Lemnos Inc.



RIKI ROMAN CLOCK

リキ ローマン クロック



ローマ数字を使った時計は、書体の持つクラシカルなイメージ、直線のための単調さ故、枠体や針を華やかにデザインする傾向がありました。それに対し、ローマ数字の直線構成の美しさに注目し、書体を生かすため装飾を排し、その繊細なメリハリを研ぎ澄まし、シンプルな針のバランスと枠体を求めて1977年に生まれたのがこのクロックです。

発売当時、恐らく衝撃的であったその「そっけなさ」は、今となってはあたかもモダンクロックの基本のように感じられます。

敢えて塗られた時計枠体のゴールド色が唯一の装飾かもしれません。

WR17-12 / 4515030075899

φ251×d60mm 1,080g アルミニウム、ガラス スイープセコンド

¥27,500(本体価格¥25,000)

RIKI STEEL CLOCK

リキ スチール クロック



WR24-10 BK / 4515030102007



WR24-10 WH / 4515030101994



WR24-11 OR / 4515030102014



WR08-24 BK / 4515030073000



WR08-24 WH / 4515030072997



WR08-25 BK / 4515030073024



WR08-25 WH / 4515030073017



「小さな壁時計」でパーソナルクロックという概念を世に問うた後、視線はさらにその実用性へと向けられました。クオーツにより、月差何秒という極めて正確なものとなったクロックに相応しい個性とは？小さくすれば、視認性は下がる。それならば実サイズより、イメージサイズを小さくする。

1977年「内に集中する力と外に広がる力」のバランスをテーマにデザインされたこれらの時計は、異なるアプローチながら、12方向のラインとアラビア数字の絶妙なコンビネーションにより、大きく見せ小さく感じさせるパーソナルクロックの一つの完成形を作りました。傍に近付き、少し離れてみれば、体験できると思います。

WR24-10 / WR24-11

φ204×d60mm 610g スチール、ABS樹脂、ガラス 電波時計
スリープセコンド ¥22,000(本体価格¥20,000)



ホワイト、ブラックを基調にした美しい電波時計です。シンプルで繊細な文字盤に極細の針を絶妙なバランスで配した棒指標タイプと、大きめの12個の数字に、長さ、太さにメリハリある針を使用し見やすさを重視した数字指標タイプの異なる2種類の展開です。

落ち着いたあるマット塗装で仕上げられた枠体や、盤面と同色の秒針を用いるなど細部にまでこだわって製作された逸品です。

WR08-24 / WR08-25

φ204×d60mm 660g スチール、ABS樹脂、ガラス 電波時計
スリープセコンド ¥22,000(本体価格¥20,000)





渡辺 力
Riki Watanabe

(1911-2013) 東京高等工芸学校木材工芸科卒業。母校助教授、東京帝国大学(現東京大学)林学科助手等を経て、'49年日本初のデザイン事務所を設立。東京造形大学室内建築科、クラフトセンター・ジャパン、日本インダストリアルデザイナー協会、日本デザインコミッティーの創設に深く関わる。京王プラザホテル、プリンスホテルなどのインテリアデザイン、ヒモイス、トリスツール等の家具、また壁時計に始まり日比谷第一生命ポール時計などパブリッククロック、ウォッチまで時計の仕事はライフワークとなった。ミラノ・トリエンナーレ展金賞、毎日デザイン賞、紫綬褒章など受賞多数。2006年、東京国立近代美術館にて「渡辺力・リビングデザインの革新」展を開催。

(1911-2013) Graduated from the Woodwork Department of Tokyo High Polytechnic School. After working as an assistant professor at Tokyo High Polytechnic School and as an assistant in the Forestry Department at Tokyo Imperial University (the existing Tokyo University), he established Japan's first design office, the RIKI WATANABE Design Office, in 1949. His main focus was the establishment of the Interior Architect Department at Tokyo Molding University, Craft Center Japan, Japan Industrial Designer Association and Japan Designers Committee. He designed the interior decor at the Keio Plaza Hotel, Prince Hotel, etc. and furniture such as the "Himo-Isu (Rope chair)" and "Trii-stool". Moreover, from wall clocks and watches to a public clock called "Hibiya pole clock" at Dai-ichi Life Holdings in Hibiya district, his work on clocks and watches became his lifework. He received the Milano Triennale Gold Medal in 1957, the Mainichi Industrial Design Prize, Shiju hoshō (the Medal of Honor with Purple Ribbon), and many other awards/recognitions. In 2006, the "Riki Watanabe - Innovation of Living Design" exhibition was held at the National Museum of Modern Art.



株式会社タカタレムノス

東京ショールーム・オフィス / 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-7-14 シャノワール文京 1F TEL : 03-5981-8120 FAX : 03-5981-8365

本社 / 〒933-0957 富山県高岡市早川 511 TEL : 0766-24-5731 FAX : 0766-22-8071

www.lemnos.jp info@lemnos.jp

※本体写真と実際の商品との色は印刷の関係上、若干異なる場合がありますので、予めご了承下さい。 ※無断転写・無断複写を禁じます。 Printed in Japan ©2017 TAKATA Lemnos Inc. All rights reserved.